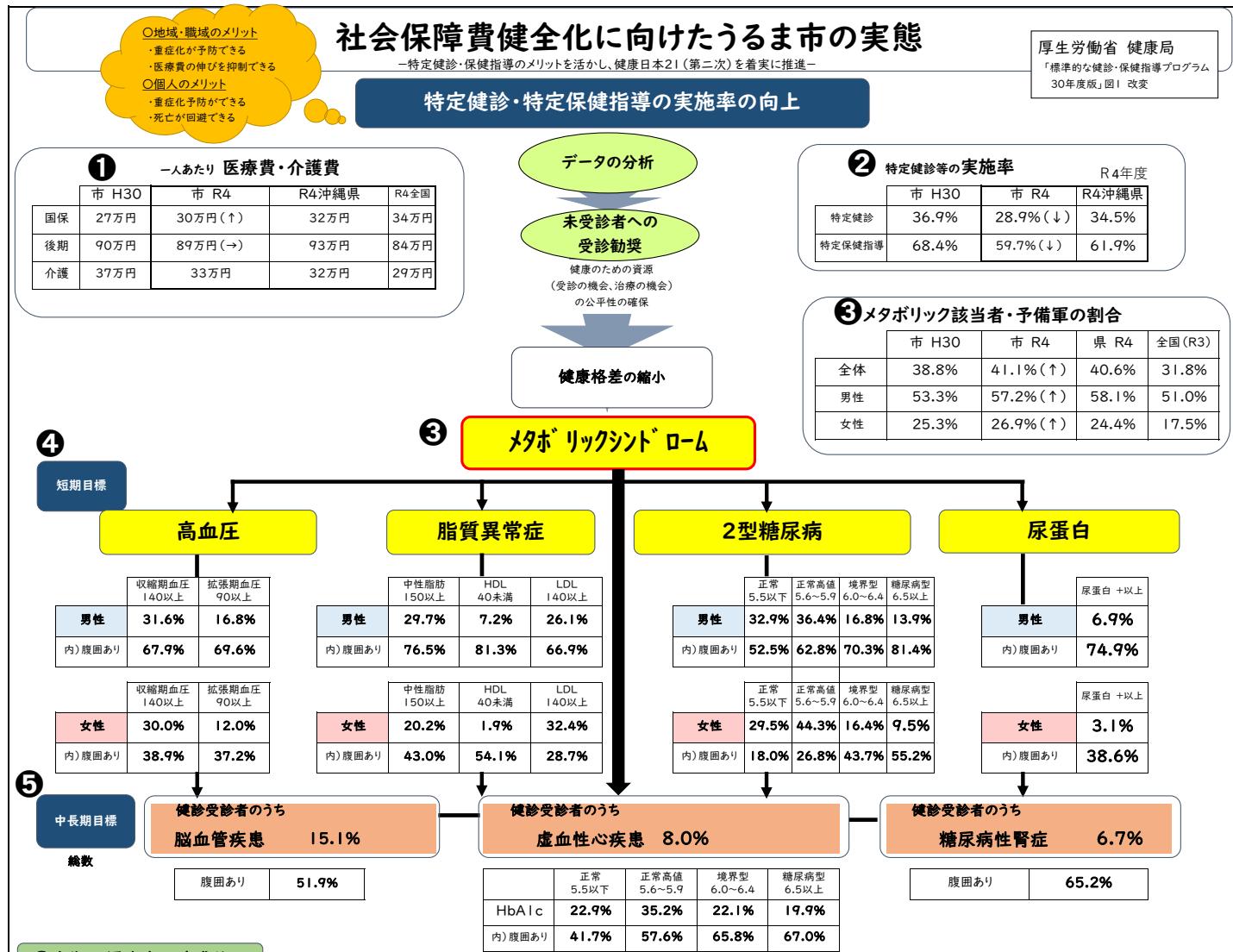


データヘルス計画の目指すところ: 健康寿命の延伸、医療費適正化



【医療費】

- 中長期目標疾患である脳血管疾患、虚血性心疾患、腎疾患の医療費の合計が総医療費に占める割合は H30年度(11.9%)に対し、R4年度(11.6%)で減少
- 慢性腎不全にかかる医療費は、H30年度(7.6%)からR4年度(7.3%)に減少しているが、R1年度より国民健康保険給付医療費の第1位となっており、県、国よりも高い
- 虚血性心疾患(狭心症、心筋梗塞)にかかる医療費はH30年度(1.6%)からR4年度(1.5%)で横ばいで、県よりも低い
- 脳血管疾患(脳梗塞、脳出血)にかかる医療費はH30年度(2.4%)からR4年度(2.5%)で横ばいでいるが、県、国よりも高い
- 新規人工透析導入患者はR2年度以降増加しており、R4年度23人、平均年齢が64.1歳

【介護認定の状況】

- H30年度とR4年度の疾患別患者数の比較より、脳血管疾患、虚血性心疾患における介護認定期割合が増加
- 【地区的特徴】
- 新規人工透析導入患者の65歳未満の割合を地区別にみると、具志川地区は減少、与勝地区は増加

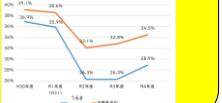
①医療費・介護費

・国保加入者は減少しているが総医療費は増加しており、一人あたり医療費はH30年約27万円からR4年約30万円に増加している
・一人あたり医療費は国、県よりも低い
・総医療費に対する入院医療費の割合は減少傾向であるが、1件あたりの費用額は増加
・一人あたり介護料付費は、H30年約37万円からR4年約33万円に減少しているが、介護認定期割合に伴い総給付費は増加



②特定健診・特定保健指導

・R1年度以降、特定健診受診率が低迷しており、R4年度は県内41市町村中41位で最も低い、年代別では40代～50代が特に低い
・特定保健指導率は、R3年度以降60.0%を下回り、R4年度59.7%で県内41市町村中28位



③メタボリックシンドローム該当者・予備軍の割合

・メタボリックシンドローム該当者・予備軍の割合はH30年度39%からR4年度41%に増加、全国、県よりも高い
・男性のメタボ割合は5割を超えていている



④短期目標疾患の達成状況

【高血圧の状況】

- 血圧 II度以上(160/100以上)の割合はH30年度(7.6%)からR4年度(8.7%)に増加
- 高血圧治療中の方の合併症について、脳血管疾患、虚血性心疾患、人工透析割合が減少
- H30年度とR3年度健診結果比較より、高血圧の未治療者割合は減少しているが、医療のかかり方から治療中断割合(3か月以上受診がない者の割合)が県よりも高い

【糖尿病の状況】

- 糖尿病治療中の方の合併症の中で、人工透析の割合は40～64歳で減少しているが、65～74歳においては増加
- 糖尿病治療中の方の合併症の中で、脳血管疾患の割合は65～74歳で減少しているが、40～64歳においては増加
- H30年度と3年度健診結果比較より、糖尿病の未治療者は減少し、未治療割合も県よりも低い

【脂質異常症の状況】

- 脂質異常症治療中の方の合併症の中で、虚血性心疾患割合は減少

【メタボリックシンドロームの状況】

- 腹囲所見のある方は有所見割合が高く、特に男性においては6割以上が高血圧、脂質異常症、2型糖尿病、尿蛋白の有所見となっている
- 2年連続健診受診者で特定保健指導を受け、次年度特定保健指導対象からはずれた割合(減少率)は、R4年度(19.6%)で最も高く、県よりも高い

